


# JA邑楽館林 営農・経済事業の取り組み

～あなたに笑顔を～  
 JA 邑 楽 館 林

代表理事組合長 阿部 裕幸



## JA邑楽館林の紹介



群馬県内 15JA のなか、県東南部の JA になります。



## 事業概要

名称	邑楽館林農業協同組合		
所在地	〒374-8611 群馬県館林市赤生田町847番地(本所)		
電話番号	0276-74-5111(代表)		
代表者	代表理事組合長 阿部 裕幸(令和4年5月27日就任)		
設立	平成21年3月1日		
地区	館林市・板倉町・明和町・千代田町・大泉町・邑楽町の1市5町		
出資金	29億438万円		
組合員数	正:7,954人	准:8,970人	合計:16,924人
組合員戸数	正:7,343戸	准:8,021戸	合計:15,364戸
役員数	理事:33人(内常勤5人)	監事:9人(内常勤1人)	合計:42人
職員数	正職員:391人(男:222人 女:169人) 臨時職員:129人(男:50人 女:79人) 合計:520人		
事業所(店舗)	本所(1)、支所(15)、あぐり(4)、事業所ほか(30)		
事業実績	貯金残高	2,343億8,420万円	
	貸出金残高	312億4,008万円	
	長期共済保有高	4,525億8,125万円	
	購買品供給・取扱高	59億 927万円	
	販売品販売・取扱高	155億7,500万円	

(令和3年度末)





- 平成25年度から10年後のめざす姿を掲げた中期計画に取り組む

JA邑楽館林の「めざすJAの姿」

農業革新、事業革新、組織革新、人と職場革新

- 平成26年12月 支所再編計画と農業ビジョン策定を臨時総代会に諮る

【農業ビジョン】

- 既存作物の活性化と伸張や加工用露地野菜の振興など
- 営農事業拠点の効率的な再配置（地域で大別した4つの拠点）
- やる気ある農家支援事業

【新店舗づくりビジョン】

- 管内（1市5町）22支所から再編10支所構想（館林市5支所、5町各1支所）

- 令和4年度より第四次経営刷新3か年計画に取り組む

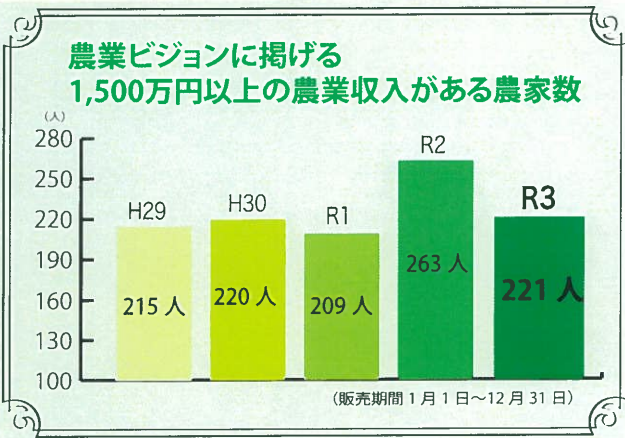
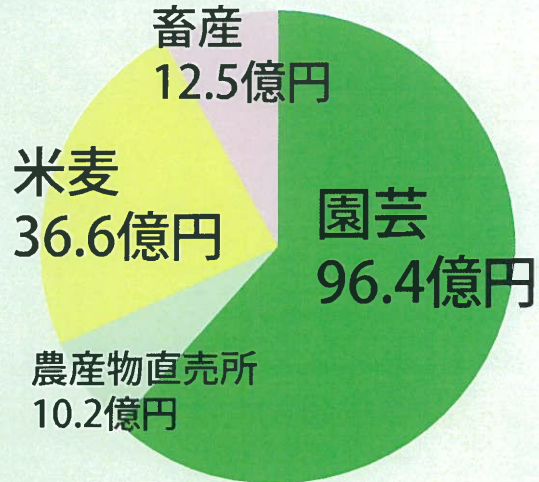
「農業」「地域・暮らし」「JA経営」をテーマに「不断の自己改革」取り組み強化  
農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に加えて、  
農業経営基盤の維持・強化とJA経営基盤の強化





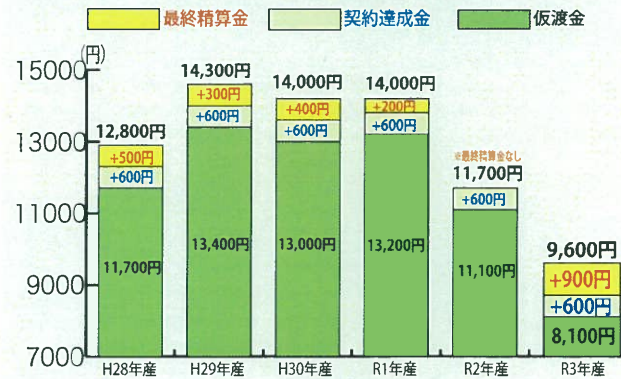
# 販売高

R3年度 155.7億円



## 米の買取価格の推移 (主食用1等/玄米60kg)

▶ 独自ルートでの米販売 (外食産業、酒造会社など12社)



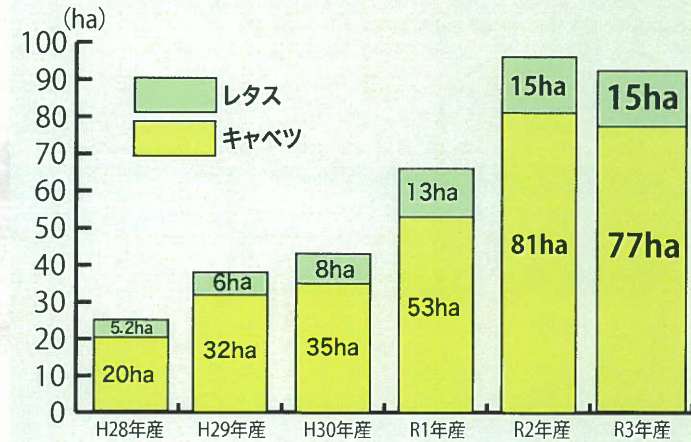
JA 邑楽館林の  
加工用米生産量 **6,800トン**

ちなみR2年産のJA邑楽館林の加工用米は

群馬県の **100%** 全国の **2.66%** を占める

## 管内キャベツ/レタス栽培面積 (露地およびハウス) の推移

▶ 露地野菜振興 加工用・業務用の取組み  
(R3年度実績: キャベツ 77ha、レタス 15ha)



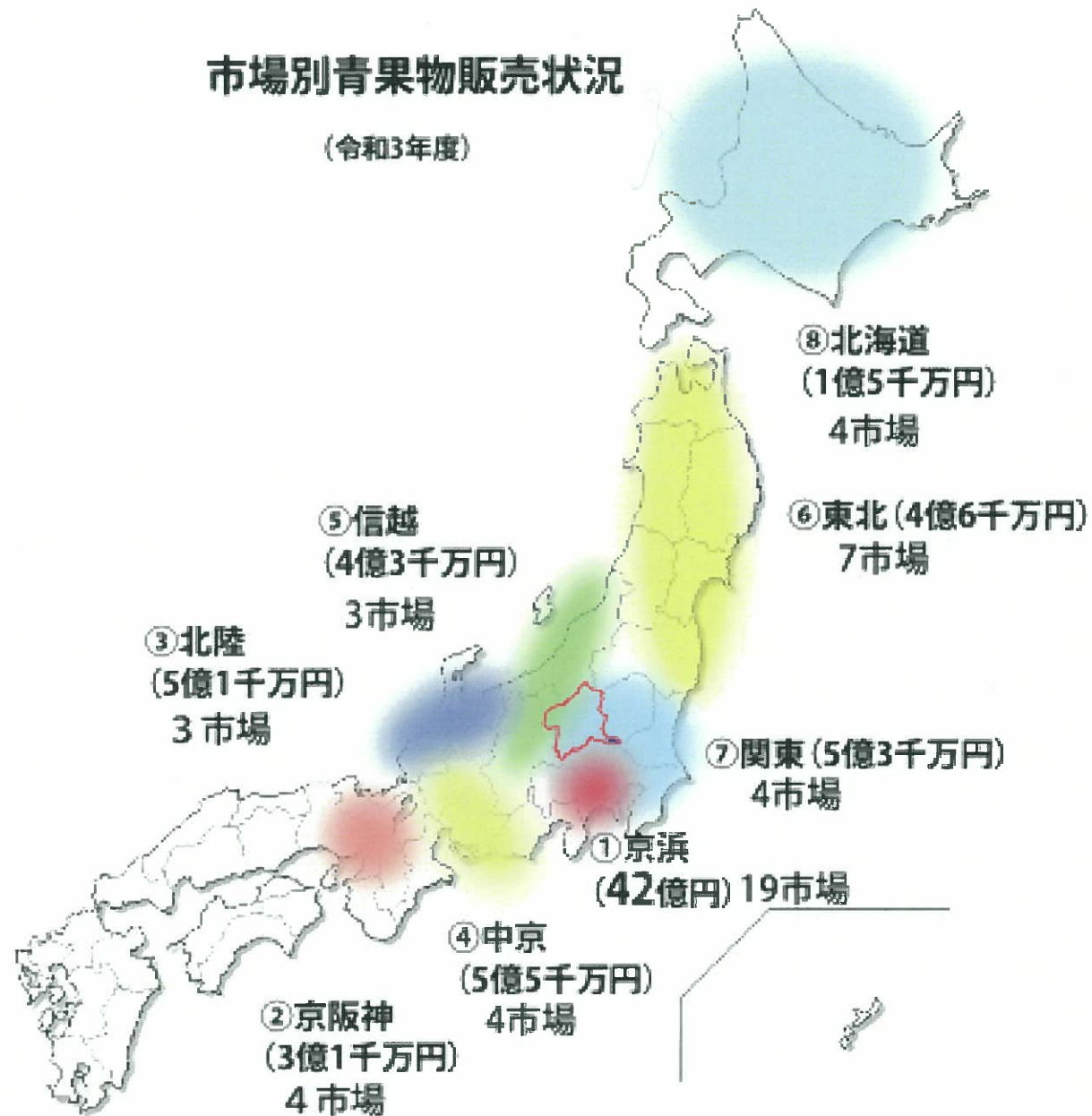
- 1500万円以上の販売農家  
→ ニーズの掘り下げ
- 中規模農家  
→ 支援策を模索
- 加工用露地野菜の振興  
→ キャベツ、レタス





# 市場別青果物販売状況

(令和3年度)



※もやしを除く(市場手数料 運賃 控除後)



あなたに笑顔を





# ●加工用露地野菜の振興

群馬県の農業生産性3割改善  
JA邑楽館林がキャベツの契約生産に注力



## 【記事内容(抜粋)】

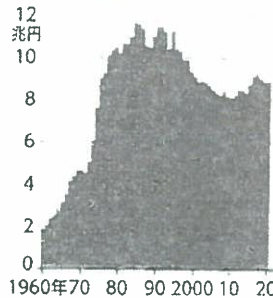
面積あたりの農業産出額が大きい「稼ぐ農地」への転換が群馬県や山梨県で進んできた。最も向上したのは群馬県で全国集計22.5ポイントを上回り31.5%増となった。JA邑楽館林は、カット野菜向けキャベツの生産拡大を促す。

群馬・山梨などは農業生産性が大きく改善(収益性増減率)

- 30%以上
- 20%以上30%未満
- 10%以上20%未満
- 0%以上10%未満
- 減少

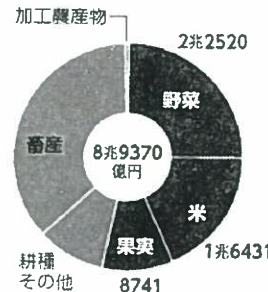
(注)耕地1ヘクタールあたりの都道府県別農業産出額について、2005年から20年への増減率を算出  
(出所)農水省の作物統計調査、生産農業所得統計から作成

日本の農業産出額は2010年以降盛り返す

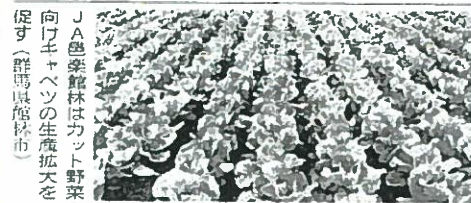


(注)1975年以前は沖縄県を含まない  
(出所)農水省の生産農業所得統計

野菜や米、果実で2020年農業産出額の半分以上を占める



(出所)農水省の生産農業所得統計



JA邑楽館林はカット野菜向けキャベツの生産拡大を促す(群馬県館林市)

通常生産と異なり大  
高付加価値品へ転作進む

## データで読む 地域再生

# 高付加価値品へ転作進む

耕地1ヘクタールあたりの農業産出額を都道府県別に算出した。最も向上したのは群馬県で全国集計を22.5ポイントを上回り31.5%増となった。山梨県が29.0%増(館林市)が農家の経営安定性を高めるためキャベツの契約生産に注力した。消費が減る米や麦に代えて16年度から業務用や飼料拡大で需要が増すカット野菜向けを拡大した。

面積あたりの農業産出額が大きい「稼ぐ農地」への転換が群馬県や山梨県で進んできた。担い手が激り耕作放棄地も広がる農業を再活性化するには、収益性を高める努力が欠かせない。上野原はカット野菜向け生産を拡大するなど世の中の変化に柔軟に対応し、価格競争に負けない産品への切り替えも進める。(関連記事を地域経済面に)

# 1タール産出額、山梨も大幅増

# 農業生産性 群馬3割改善





# 野菜の契約販売強化

レタスや  
キャベツ  
カット用  
一大産地に

【群馬・邑楽館林】JA邑楽館林は、農家所得の増大に向け、加工業務向け露地野菜の販売力の強化に力を入れている。キャベツなど重要品目

## JA 群馬・邑楽館林

の栽培面積を増やし、契約販売を進める。生産者を対象に、業者を招いて説明会を開いた他、栽培管理や規格などを提案。有利販売を目指す。

ユレーションや加工業務向けの規格を示し、作付けを呼び掛けた。

JA園芸流通課の小川賢一課長は「有利販売をして農家の所得を増やしていきたい。契約販売では、ルールを確認して出荷してほしい」と呼び掛けた。

JAは今後、露地野菜の生産拡大を通じ、農地集積や遊休農地の解消につなげる考えだ。

JAでは、中期計画の「家力の向上」を掲げている。第二次経営刷新3カ年計画で、農家所得の増大に向けて、キャベツ20畝、レタス5畝、タマネギ5畝の

契約販売を目標に掲げている。

このほど、館林市のJA本所で、ミネラル成分にこだわったカット野菜を販売する、富士食品工業(株)を招き、契約レタス栽培の説明会を開いた。説明会で、同社は「カット野菜生産を通じて、この地域を冬野菜の一大産地にしていきたい。若者の農業参入を促したい」と生産者、JAと連携した産地育成に期待を寄せた。

JAでも6月にはキャベツ栽培に関する説明会を開いた。参加した生産者ら30人に、秋冬キャベツの指定品種や栽培管理、契約販売について説明。生産者に契約販売のキャベツ代金精算のシミ



ミネラル野菜の契約栽培について担当者から説明を受ける生産者

●加工用露地野菜の産地化は成28年から研修会などを開催し、取り組みを始めた。



●平成29年には収穫機が導入された。

導入したキャベツ収穫機を試乗する関係者



# キャベツ収穫 新鋭機が威力

群馬のジャパン・ミネラル・ファーム

# 3人で10ルーラー4時間

群馬県のJA邑楽館林管内の板倉町を中心に、加工向けのレタスやキャベツを生産するジャパン・ミネラル・ファームは、新たに実用化された「キャベツ収穫機一条堀り」を導入した。作業能率は10ルーラー4時間、動力は41馬力、収穫作業人員は3人で済む。

## 加工需要見込む

12月中旬には、関係行政や加工会社などの関係者を集め、作業機で掘り取ったキャベツを、収穫機に乗車した作業者が外葉を取り除き、コンテナに収める作業を確認した。生活スタイルの多様化が進み野菜の消費量が減少する中、カット野菜の需要は

増えている一方、耕作放棄地は年々増加傾向にある。そこでJAはレタス、キャベツで新たな野菜の産地化を狙う。加工向けのレタス、キャベツを栽培する農業生産法人や、水田を利用した野菜栽培に取り組み生産者協議会などが中核となって取り組む。地域をけん引するシャパン・ミネラル・ファーム代表の赤坂晴久さん(43)は「これからの農業は、大規模で、農作業も大勢で和気あいあいとする方が意欲が高まり効率が良い。販売先を見通した生産が大切だ」と展望する。キャベツ7畝、レタス6畝、シヨウガ・キュウリ1畝の計14畝を経営。キャベツの収穫機や外国人実習生を受け入れながら将来的には100畝の経営を目指す。

(群馬・邑楽館林)

H29年12月30日 日本農業新聞 北関東面



あなたに笑顔を JA邑楽館林



## ●中規模農家支援策(やる気ある農家支援事業)

「やる気ある農家」をJAが支援するものだ。  
 助成項目は、ハウスの建設やハウス関連機器の購入に対する支援(園芸部門)、農業機

### 生産拡大・維持に助成 農家のやる気応援



申請者へ事業概要を説明するJA職員  
 (群馬県館林市で)

#### 群馬・JA邑楽館林

【群馬・邑楽館林】JA邑楽館林は、「やる気ある農家支援事業」と題した独自支援策に乗り出した。地域農業の振興と農畜産物の生産拡大・維持を図ることが目的だ。高齢化や担い手不足によって管内農家の減少が懸念される中、経営規模の拡大・維持を検討する

械の購入に対する支援

(園芸、米麦部門)、

畜産衛生防疫や暑熱対

策に対する機材購入支

援(畜産部門)。部門

別助成総額は園芸、米

麦、畜産の各部門合計

で1000万円以内。

日本農業新聞  
 令和3年4月1日  
 JA面  
 助成導入時の記事

申請要件は①JA管内の組合員で規模拡大・維持を検討している人②生産に必要な技術を有し、健全な経営を行っている人③国・県の補助事業に該当なかったものは助成対象から除外となるが、市町の助成事業は重複可とする——など。

1月中旬から2月末を申請期間として、3月中旬に審査会を開いた。園芸11、米麦35、畜産6の各部門計52件の申請全てを承認し、助成金額は上限の1000万円に達した。





## やる気ある農家支援事業・助成基準

部門	項目	対象（全て新品に限る）	助成金額	部門別助成総額
園芸	農業用施設・資材に対する支援	鉄骨ハウス・パイプハウス・ニガウリ支柱・ナスV字支柱（工事費含む） 出荷用園芸農産物の生産に係る農業用施設に限る	事業費（購入金額）の <b>20%以内</b> （上限100万円）	400万円以内
		ハウス被覆張替え（5年張り以上の資材を対象）（工事費含む） 出荷用園芸農産物の生産に係る農業ハウスの張替えに限る	事業費（購入金額）の <b>10%以内</b> （上限50万円）	
	ハウス関連機器の購入費用に対する支援	環境測定器＋炭酸ガス発生機（工事費含む） ※測定器が有る場合、発生機のみも可	事業費（購入金額）の <b>20%以内</b> （上限50万円）	
	農業機械の購入費用に対する支援	・定植機（キャベツ・白菜等） ・播種機（キャベツ・白菜等） ・マルチャー（野菜全般）		
米麦	農業機械の購入費用に対する支援	・コンバイン（4条刈まで） ・田植え機（6条植えまで） ・乾燥機（40石まで） ・粉摺り機（4インチまで）	事業費（購入金額）の <b>20%以内</b> （上限50万円）	500万円以内
畜産	畜産衛生防疫に対する機材購入支援	・動力噴霧器 ・高圧洗浄機 ・牛床マット ・飼槽 ・ウオーターカップ（工事費含む）	事業費（購入金額）の <b>50%以内</b> （上限20万円）	100万円以内
	暑熱対策に対する機材購入支援	・畜舎設置用送風機・給霧機 ・断熱材（工事費含む）		



あなたに笑顔を

JA邑楽館林

## やる気ある農家支援事業の実績

### □令和3年度

助成支払件数 51件、事業金額107,354,721円、助成金額9,740,937円  
(園芸11件、米麦34件、畜産6件)

### □令和4年度

助成支払件数 46件、事業金額82,235,842円、助成金額9,584,073円  
(園芸24件、米麦19件、畜産3件)

### □令和5年度

助成支払件数 39件、事業金額87,173,532円、助成金額10,000,000円  
(園芸20件、米麦15件、畜産4件)





# ● JAの第一義は、農家組合員と向き合うこと

## ひょうう害復旧へ支援

### 群馬・JA 邑楽館林 金利軽減し融資

【群馬・邑楽館林】JA邑楽館林は7月下旬、今年5月に発生した降ひょうの被害を受けた生産者に対し、営農復旧に必要な金融支援策を打ち出した。取り組みを「降ひょう被害融資支援事業」と定め、JA独自の金利負担軽減措置などを講じ、農業経営の継続・安定に寄与する内容だ。

貸付対象者は、JAが定める「圃芸施設災害見舞規程」に該当する被災農業者などで、JAが発行する罹災証明書がある人に限定する。8月1日現在、対象者は203人。使途は、破損および倒壊した農業用構築物の復旧、補修に必要な資金とする。

JAではこの他、6月と7月にJA常勤役員が被害を受けた生産者を訪れて見舞金を手渡している。JAの阿部裕幸組合長は「組合員が困っているときに、JAの迅速な対応が求められる。職員の間連携を図り、今後も丁寧な相談活動を続ける」と話した。



5月28日に降ひょう後の被害調査に向くJA職員（群馬県板倉町で）

## 資材購入費一部を還元

### 群馬・JA 邑楽館林 価格高で組合員支援

【群馬・邑楽館林】JA邑楽館林は、価格高騰が続く飼料・肥料・営農用A重油の供給高に応じて組合員を支援する「令和4年度生産資材価格高騰対策」を打ち出した。概算で総額5000万円を組合員に還元する支援策を実施する。

支援策の対象は、2022年1月から12月までに飼料・肥料・営農用A重油を購入した組合員。飼料は10t以上、肥料は2万円以上の購入が条件となる。購入費の一部を期中に還元する。JAの阿部裕幸組合長は「5月の降ひょう被害に加え、生産資材価格高騰で管内の生産者は大変な時期を迎えている。生産者に寄り添い、JAとして最大限の営農支援をしていきたい」と話した。ロシアのウクライナ侵攻や円安などの影響で生産資材価格が高騰。生産者の経営を脅かしている。特に配合飼料価格は大幅に上昇。肥料価格も7月から、営農用A重油価格は長期にわたって、それぞれ高騰している。



フォークリフトで肥料を運ぶJA職員（群馬県館林市で）

日本農業新聞 令和4年8月10日北関東

日本農業新聞 令和4年8月11日北関東





## ● JAの第一義は、農家組合員と向き合うこと

同事業は、肥料価格高騰による農業経営への影響を緩和するため化学肥料の低減に取り組む農家を支援する。2022年6月から23年5月までに肥料を購入、使用した農家を対象に肥料価格高騰分の70%を国が助成する。農家を一堂に集めた説明会を開くなどし、事業の概要や申請方法を周知するJAは多い。同JAは農家の負担軽減や書類に不備のない円滑な申請につなげるため、全職員による農家訪問を始めた。前年のJAへの販売実績と、前年のJAからの肥料購入実績の両方を満たす農家を対象に、申請手続きを支援

## 肥料高対策の申請支援

【群馬・邑楽館林】JA邑楽館林は11日、国の「肥料価格高騰対策事業」の申請手続きを支援するため、JA全職員が対象農家約2300戸を訪問する取り組みを始めた。JA職員が同事業の内容を直接分かりやすく説明し、JA独自の調査票や意向確認書、申請に必要な化学肥料低減計画書の記入を促す。各種書類はJA職員が回収し、国に提出する。25日まで訪問する。

# 対象農家2300戸を訪問

群馬・JA  
邑楽館林 全職員で手続き説明

## 高騰打破

する。22年6月から10月までの購入分を「秋用肥料」、同11月から23年5月までの購入分

を「春用肥料」と定め、それぞれ支援金を算定し、申請する。11日、JA職員から説明を受けた農家は「肥料価格が上がり、心配している。職員が迅速に対応してくれてありがたい」と感謝した。

国への申請期間が迫る中、管内では米の収穫が始まり、職員による庭先集荷がピークを迎える。職員は「多忙な時期だが、困っている農家に寄り添うのが職員としての使命だ。これからもしっかりと対応したい」と話した。



生産者の元へ事業説明に向くJA職員 (11日、群馬県館林市で)





## 生産コストの低減支援

### 生産資材の予約割引 (組合総括に負けない努力)

#### 肥料・農薬の予約購入

- 肥料の予約 ①価格優待割引 ②前払割引 ③数量割引
- 農薬の予約 価格優待割引

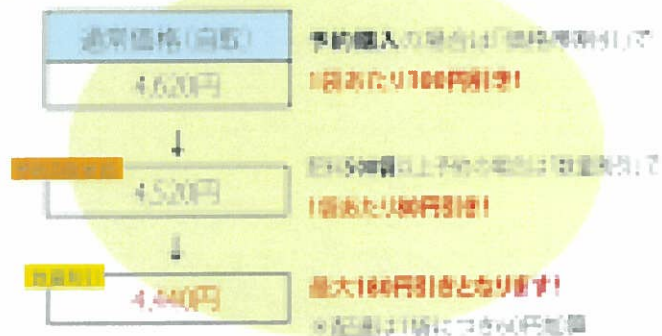
#### 【肥料の数量割引(大口予約優待)】

肥料の数量以上予約で、対象品目が異なります。 (単位: 100kgあたり)

数量区分	申込数量		単肥	化成・配合
	100袋～299袋		20円	40円
300袋～499袋		30円	60円	
500袋～		30円	80円	

※対象品目は予約申込書をご確認ください。

例: 軽量水稲一括調達の場合



## 水稲栽培では肥料の予約率は

水稲肥料(R5年度) 予約率 **87%**

管内生産者 1,950 人のうち 1,698 人が予約  
大口奨励(数量割引) 該当者は 610 人

## 肥料・農薬の予約注文

肥料の新たな共同購入運動について

- ▶大規模稲農家の取り扱い **24** トン
- ▶セルフブレンド肥料の取り扱い **510** トン

## 生産資材等の業者仕入価格の見直し

(相見積りを要求して安いところから仕入れる)

肥料では、鶏糞・堆肥など全農以外の業者(系統外)と都度交渉して仕入れています。良品質、安定供給の観点では全農取扱品目が多く占めています。

農薬、包装(フィルム)、重油などは全農と系統外で見積り合わせを行い数社に分けてリスク分散して仕入れています。また、ダンボールは氏名印刷(500枚から)や戸別配達などのサービスを含めた価格交渉をしています。

### ■あぐり店の拠点化

- 宮農経済事業を4つの拠点に随時集約
- あぐり北館店 H28年10月オープン
- あぐりCセンター H29年4月リニューアル
- あぐり板倉店 H30年12月リニューアル



組合員の利便性と機能強化

## ● 水田農業政策を活用した農業所得の確保

群馬県のJA邑楽館林は、米麦二毛作の栽培者に対し、表作には麦、裏作には加工用米や飼料用米を作付けするよう、切り替えを推進する方針を打ち出した。3月中旬には、館林市が開いた「水田台帳経営所得申請に関する相談会」に出向き、個別相談に応じた。

# 水田二毛作で呼び掛け 裏作は加工・飼料米を



計画書、米収穫前出荷契約書の記入方法を指導した。

## 収入確保へ個別相談 群馬・JA 邑楽館林

2022年度の水田農業取り組み方針では、切り替えた場合の補助金の試算を生産者に例示し、小麦に関しては、秋まきの作付けを呼び掛けた。22年産では、過去最大規模の作付け転換が進んだ21年産に続き、前年比実績で約3%の

生産者の個別相談に応じるJA職員④（群馬県館林市で）

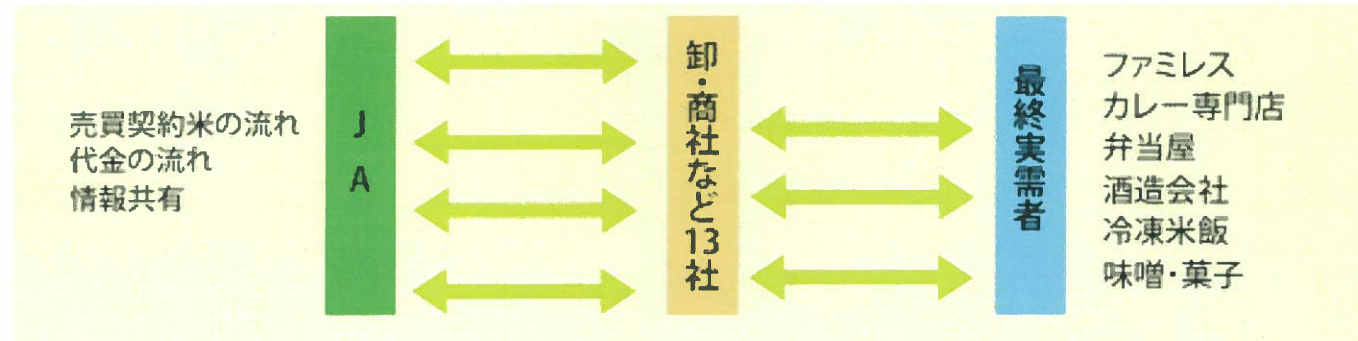
減産（転作）が求められていた。JAでは、主食用米への作付け集中による価格下落のリスク低減のため、加工用米などを活用した販売戦略を生産者へ周知している。

生産者は「先行きが不安なところもある中、個別相談はとてもありがたい。JAから、いいアドバイスがもらえた」と話した。（群馬・邑楽館林）





●販売方針 1. 最終実需者の見える販売 2. 卸や商社など、取引提案のある中間業者を介する



●リスク管理

- |  |   |  |
|--|---|--|
| <p>■取引リスク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 売買のキャンセル</li> <li>② 出荷遅延</li> <li>③ 取引の継続性</li> <li>④ 集荷数量の安定</li> </ul> <p>■代金リスク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 回収不能・未収の長期化</li> <li>② 生産者への過払い</li> </ul> <p>■総合リスク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 買取販売の継続</li> <li>② 費用の増大</li> </ul> | ➔ | <p>対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 取引数量の検討</li> <li>② 引取り期限の設定</li> <li>③ 最終実需者の見える販売</li> <li>④ 出荷契約の厳格化</li> </ul> <p>対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 決済サイトの短縮</li> <li>② 売買契約締結後の精算払い</li> </ul> <p>対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 情報の取得と分析</li> <li>② 調査分析と効率化</li> </ul> |
|--|---|--|

米販売事業の今後の課題とカギ

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 米価の安定 水田交付金の動向と作柄</li> <li>② 保管管理と資産投資<br/>保管の長期化による品質事故、低温倉庫の取得</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>③ 米集荷作業 職員の専門化と経済担当職員の高齢化</li> <li>④ 生産の維持 生産農家の高齢化による減少</li> <li>⑤ CE・RCの老朽化 保守修繕費の増大と施設整備</li> </ul> |
|--|---|





● 直売所2号店(農家所得増大と地域活性化に向けて)



農産物直売所  
でんえんマルシェ

令和4年12月15日オープン

直売所1号店  
農産物直売所ぽんぽこ は、  
平成20年11月にオープン

来客数	年間50万人
売上額	年間10億円
お客様単価	1,962円
販売品率	
生産者	約60%
業者	約30%
仕入れ	約10%





## JA邑楽館林の自己改革工程表 農業関連(KPI)

農業者の所得増大・農業生産の拡大					
実施事項	取り組み目的	目標とする指標	目標値		
対象者	売上増加・コスト削減効果【想定】		令和4年度	令和5年度	令和6年度
水田農業政策を活用した農業所得の確保	農業者の所得増大	交付金総額 (規模拡大・新規作付面積)	155,600万円	156,200万円	156,600万円
米麦生産者	交付金総額の拡大 156,600万円		(加T.用米 1,552ha 飼料用米 110ha 麦類 2,447ha)	(加T.用米 1,552ha 飼料用米 113ha 麦類 2,456ha)	(加T.用米 1,552ha 飼料用米 116ha 麦類 2,460ha)
共同購入肥料オール14の供給拡大	生産コストの低減	共同購入肥料 オール14の取扱数量	44,000袋	45,000袋	45,500袋
全ての農業者	107-ルあたり600円				
「やる気ある農家支援事業」の継続	農業生産の拡大 農業者の所得増大	機械や設備等の購入に 対する助成総額	1,000万円	1,000万円	1,000万円
全ての農業者	助成総額1,000万円/年				
新規農産物直売所の開設	農業生産の拡大	直売所出荷者数 (直売所販売金額)	500人 (11.9億円)	550人 (14.9億円)	600人 (16.0億円)
直売所出荷者	直売所出荷者600人				

## 令和4年度実績

水田農業政策を活用した農業所得の確保 交付金総額150,000万円 【達成度96%】

共同購入肥料の供給拡大 64,023袋 【達成度145.5%】

やる気ある農家支援事業の継続 958万円 【達成度96%】

新規農産物直売所の開設 出荷者482人 【達成度96%】 直売所販売金額10.7億円 【達成度89.9%】





## ● 機構改革

### □ 総務部に**組合員課**を創設（R4年3月～）

JA自己改革で掲げる農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化の実現に向けて、組合員との対話活動を推進するために広報広聴機能を充実させる目的

### □ 園芸部に**園芸直販課**を創設（R4年9月～）

農産物直売所2号店オープンを控え、管内2カ所の大型直売所を機能させ、消費者への地産地消の推進、生産者との関係強化による品揃えの充実を図り農業者の所得増大や農業生産の拡大につなげる目的





ご静聴いただきありがとうございました

